

## 「ひとつのバラが花を開く」

藤井 由美子

4年前に「アデニウム」一別名「デザートローズ」の鉢を購入しました。  
1年目の冬には葉が全部落ちてしまい、せっかく買ったのにこのまま枯れてしまうのかと悲しく思っていました。でも春になると新しい葉が次々と芽を出し、ほっとしました。  
そして2年目の冬には、4本に分かれた枝のそれぞれに5個ずつほど綺麗なピンクの花が咲きました。神様からのプレゼントのようでとても嬉しかったです。今年も蕾を付けて咲き始めました。  
デザートローズはアフリカ、アラビア半島が原産で乾燥した場所でも綺麗な花を咲かせます。うちの孫に名前を教えると「これ甘いのか？食べれるのか？」と言っていました。食後の甘い物は dessert, 砂漠は desert になり微妙にスペルが違います。  
荒れた土地にも綺麗に咲く花、私の荒れて乾いた心にも神様による一輪の愛のバラが咲きますようにとクリスマスのご讃美歌を想い浮かべます。

「ひとつのバラが花を開く」ドイツのクリスマスソングです。

- 1, ひとつのバラが花を開く、エサイの根より香り高く伝えられた誓いのごとく寒き夜半に。
- 2, 小さきその花 甘く香り 清き光は闇をぬぐう 救い主は真の御神、真の人

3,

